

# 頼れる町の動物病院

ペットの健康管理は、日常でのチェックが大切。心配なことがあれば、獣医に相談しましょう。

## 下山どうぶつ病院

地域の動物たちを診察して30年以上、経験豊富な先生が診てくれる動物病院

延沢 2502-4 ☎ 83-3509  
午前 8:30～11:30 午後 2:00～6:00  
休診日：火曜日

### 先生からのアドバイス (犬編)

予防医学が発達して、フィラリアなどの感染症にかかる犬はほとんどいなくなり、最近では、アレルギーなどの皮膚病や、異物を食べて緊急手術になる場合が多くなっています。



いずれも、室内飼いの犬が増え、飼育環境が変わったことが原因の一つだと考えられます。何か異変を感じたら、すぐに病院へ連れてきてください。



飼っている人も飼っていない人も、犬猫のためにできることから始めてみてね!



### 先生からのアドバイス (猫編)

具合が悪くても、分かりやすい症状を表に出さないのが猫の特徴。「年のせいかな…」と思っても、たいていは何かのサインです。病院が苦手な猫の場合は、飼い主さんだけの来院でも構いません。

## かいせい動物病院

開成駅西口から徒歩1分、平成28年にオープンした動物病院

吉田島 4352-9 1F ☎ 55-9302  
午前 9:00～12:00 午後 4:00～7:00  
(別途、猫のみの診療時間もあります)  
休診日：水曜日・日曜日午後

日常のストレスが症状の原因となることもあります。特に、多頭飼いの猫は注意してください。人が愛情を与えられるのであれば、複数飼わなくても、猫が孤独を感じることはありません。

## 神奈川県動物愛護センター 佐藤 裕郁 さん



令和元年に生まれ変わったセンターでは、動物のケアをする部屋や生活する部屋を充実させ、一般の見学を受け入れるなど、「命を守って、つなげる場所」としての機能が強化されました。コロナ禍でも新たな飼い主を待っている犬猫はたくさんいるため、現在はオンラインで譲渡会を開催するなどの工夫もしています。初めての方もお気軽にご参加ください。飼い主の方には、自分の身に何かがあったと

きに備え、大切なペットを任せられる方を確保することです。動物のためにできることを探している方には、センターが発信する情報をSNSで拡散するだけでも、救える命があることを知っていただくと幸いです。

センターのHPはコチラ



17年間飼っていた犬が亡くなり、その後5年間ほどペットロスの状況が続いていた中、保護犬のマナと出会いました。

保護に至った詳しい経緯は分かりませんが、元の飼い主が手放した結果、動物保護団体が引き取ったそうです。



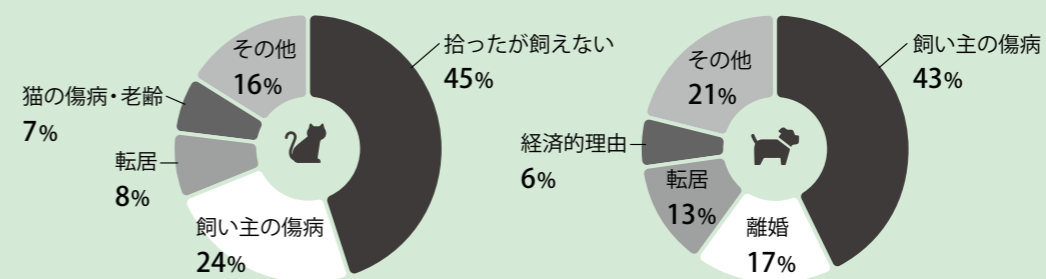
我が家に来た当初から人懐っこく、今では家族の一員として、本当に大切な存在です。飼い主が忘れてはいけないのは、犬や猫は決しておもちゃではなく、命を預かっているのだということです。犬を迎える人の10人に1人でも保護犬を選んでくれば、不幸な犬がいなくなると信じ、保護犬の魅力を伝えていきたいと考えています。

マナちゃんのInstagramはコチラ

## 保護犬マナちゃんとの生活をSNSで発信 北村 美智留 さん (上島)



### 保護依頼理由の内訳



※濱野佐代子 ほか『ペット飼育放棄要因の抽出と終生飼養サポートの検討』から作成

保護される主な原因  
行政やボランティア団体が犬猫を引き取る原因はさまざまですが、動物自体の問題行動によることは少なく、遺棄も含め、ほとんどは飼い主の都合によるものです。

### 多頭飼育の注意点

近年、多頭飼育崩壊(※)による犬や猫の引き取り事例が全国で増加していて、生活環境の悪化による近隣トラブルも発生しています。このような案件への対策として、10頭以上の犬や猫を飼育する場合は、県への届出が義務になっています。

※ 多数の犬猫を飼育している中で、繁殖の制限やエサやりなどの適切な管理ができず、問題が生じている状況

### かながわペットのいのち基金

「犬猫を助けたい!」という思いを、寄附にして届けてみませんか。「かながわペットのいのち基金」は、保護した犬猫のケガ・病気の治療やしつけ、不適正に多頭飼育されている犬猫への避妊去勢手術などに活用され、新たな飼い主へと命をつなぐために役立てられています。

